

安全データシート (SDS)

[SDS No. 12-2]

1 化学品及び会社情報

化学品の名称	
製品名	i J E S T A プレートクリーナー液 PC-1 J
会社情報	
会社名	岩通ケミカルクロス株式会社
担当部署	営業部
住所	〒168-8501 東京都杉並区久我山 1-7-41
電話番号	03-5370-5279
Fax 番号	03-5370-5494
電子メールアドレス	icc_sales@iwatsu.co.jp
緊急連絡電話番号	03-5370-5279
推奨用途及び使用上の制限	プレートクリーナー液、i J E S T A 用

2 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分 4
健康に対する有害性	急性毒性（経皮）	区分 4
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2A
環境に対する有害性		分類できない

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語	警告
危険有害性情報	可燃性液体 皮膚に接触すると有害 強い眼刺激

注意書き

[安全対策]	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。 取扱い後は手をよく洗うこと。 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
[応急処置]	皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 気分が悪いときは、医師に連絡すること。 特別な処置が必要である。 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。
[保管（貯蔵）]	換気の良い場所で保管すること。

[廃棄] 内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

他の危険有害性 情報なし

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

情報なし

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

組成及び成分情報

化学名又は一般名	CAS 番号	官報公示 整理番号	濃度又は濃度範囲 (wt%)
プロピレングリコールモノメチルエーテル	107-98-2	2-404	1.0-5.0
水	7732-18-5	—	95-99
その他	非公開	非公開	<1.0

4 応急措置

ばく露経路による応急措置

- 吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
- 眼に入った場合 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 飲み込んだ場合 直ちに医師の診断を受けること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

データなし

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

情報なし

5 火災時の措置

適切な消火剤

炭酸ガス、耐アルコール性泡消火剤、粉末、散水など

使ってはならない消火剤

直接の棒状注水。

特有の危険有害性

情報なし

特有の消火方法

散水によって逆に火災が広がるおそれがある場合には、上記に示す消火剤の内、散水以外の適切な消火剤を利用すること。

散水以外の消火剤で消火の効果がない大きな火災の場合には散水する。

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

移動不可能な場合、容器および周囲に散水して冷却する。

関係者以外は速やかに安全な場所に退去させる。

漏出した物質や消火用水などが、河川などに流出されないよう配慮する。

消火を行う者の保護

消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスクなど）を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸収を避ける。

漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させる。

漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

環境に関する注意事項

漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

危険でなければ漏れを止める。

漏出物を取り扱う時に用いる全ての設備は接地する。

蒸気抑制泡は蒸気濃度を低下させるために用いる。

二次災害の防止策

全ての発火源を速やかに取り除く（近傍での喫煙、火花や火災の禁止）。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。禁煙。容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずるなどの取扱いをおしてはならない。

取扱い後は、手や顔などをよく洗う。

接触回避 「10.安定性及び反応性」を参照。

衛生対策 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

保管

技術的対策 「10.安定性及び反応性」を参照。

消防法の規制に従う。

混触禁止物質 強酸化剤

保管条件 容器は密封し、直射日光、雨水、湿気を避け、冷暗所に保管する。

容器包装材料 破損や漏れの無い密閉可能な容器を使用する。

8 ばく露防止及び保護措置

管理濃度 設定されていない

許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）

日本産業衛生学会 設定されていない

ACGIH TLV-TWA 100ppm プロピレングリコールモノメチルエーテル

TLV-STEL 150ppm プロピレングリコールモノメチルエーテル

設備対策

防爆の電気、換気、照明機器を使用すること。

静電気に対する予防措置を講ずること。

取り扱う作業場には洗顔器と安全シャワーを設置すること。

保護具

呼吸用保護具	必要に応じて、適切な呼吸器用保護具を着用すること。
手の保護具	保護手袋（ニトリル製、塩化ビニル製）を着用すること。
目の保護具	保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	長袖作業衣を着用する。 必要に応じて保護面、保護長靴、保護エプロン等を着用すること。

特別な注意事項

適切な容姿で作業を実施する。
作業場のリスクアセスメント実施が望ましい。

9 物理的及び化学的性質

物理化学的状態	物理状態	液体
	色	白色
	臭い	溶剤臭
融点・凝固点		情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲		情報なし
可燃性		情報なし
燃焼範囲の上限・下限		情報なし
引火点		62.5℃
自然発火点		情報なし
分解温度		情報なし
pH		情報なし
粘度		情報なし
溶解度		情報なし
n-オクタノール／水分配係数（log 値）		情報なし
蒸気圧		情報なし
密度及び／又は相対密度		0.98±0.01（20℃）
相対ガス密度		情報なし
粒子特性		情報なし
その他データ		情報なし

10 安定性及び反応性

反応性、 化学的安定性 危険有害反応可能性	通常の手扱い条件下では安定である。 一般的な貯蔵・取扱いにおいて安定である。 強酸化剤と反応し、火災や爆発の危険性をもたらす。
避けるべき条件 混触危険物質 危険有害な分解生成物	高温、スパーク、火気の使用。 強酸化剤、過酸化剤 燃焼により有害な蒸気、ガス（一酸化炭素、二酸化炭素）などが発生する。

11 有害性情報

製品の有害性情報	情報なし
----------	------

成分の有害性情報

「プロピレングリコールモノメチルエーテル」

急性毒性（経口）	ラット LD50 = 6100mg/kg
急性毒性（経皮）	ウサギ LD50 = 1300 mg/kg
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	ラット LD50 >7559ppm (6h)

12 環境影響情報**製品の環境影響情報**

生態毒性 水生環境有害性（短期/急性）	情報なし
水生環境有害性（長期/慢性）	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

成分の環境影響情報

「プロピレングリコールモノメチルエーテル」

生態毒性 水生環境有害性（短期/急性）	魚類（ニジマス）96 時間 LC50 > 1000mg/L（EU-RAR 2006） 甲殻類（オオミジンコ）48 時間 EC50 > 500mg/L（SIDS, 2003, 他） 藻類（Pseudokirchneriella subcapitata）での 96 時間 EC50 > 1000mg/L（EU-RAR, 2006）
水生環境有害性（長期/慢性）	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	該当しない

13 廃棄上の注意**残余廃棄物**

廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。
特別管理産業廃棄物（廃油）に該当するので、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送（ADR/RIDの規定に従う）

国連番号	1 9 9 3
品名	その他の引火性液体類（他の危険性を有しないもの）
国連分類	3
副次危険性	該当しない
容器等級	III
海上規制情報	IMO/IMDG の規定に従うこと
航空規制情報	ICAO/IATA の規定に従うこと。

国内規制

陸上規制情報	消防法、道路法に従う
海上規制情報	船舶安全法に従う
航空規制情報	航空法に従う

特別な安全上の対策	運搬に際しては、容器の破損、腐食、漏れの無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
その他（一般的）注意	情報なし
緊急時応急措置指針番号	128

15 適用法令

労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物 （プロピレングリコールモノメチルエーテル 政令番号 第496号） 名称等を通知すべき危険物及び有害物 （プロピレングリコールモノメチルエーテル 政令番号 第496号）
化学物質管理法(PRTR)	非該当
毒物及び劇物取締法(PDSCL)	非該当
消防法	第4類 引火性液体 第2石油類（水溶性）
船舶安全法	引火性液体類
航空法	引火性液体
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	特別管理産業廃棄物（廃油）

16 その他の情報

参考文献

NITE GHS 分類結果一覧
日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告
ACGIH, American Conference of Governmental Industrial Hygienists TLVs and BEIs.
中央労働災害防止協会：職場のあんぜんサイト
その他関連する安全データシート

【注意】本 SDS は、JIS Z 7253:2019 に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分ではない可能性がありますので、取扱いにはご注意ください。本 SDS の記載内容については、新しい知見等がある場合には必要に応じて変更してください。また、注意事項等は通

常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途・条件に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。